



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-47-3981
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail:lets@some.jp

うるわし通信

平成26年1月

一灯照偶万灯照国

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平成26年甲馬年を迎え、皆様各位の本年のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

我が国は、昨年アベノミクスによるデフレ経済からの脱却や、東京オリンピック開催決定、「和食文化」のユネスコ文化遺産登録など、明るい話題も多かったものの、東アジアの外交安全保障問題や原子力発電をめぐる問題、相次ぐ自然災害、人口減少など、さまざまな課題を抱えての新年となりました。しかし厳しい情勢のなかで、私たちは、日本民族本来の良さを生かして世界に貢献する使命感を持って課題に取り組んでいかなければなりません。

先端技術やものづくりなどハードパワーに加えて勤勉、忍耐、正直、連帯などのソフトパワーを合わせたスマートパワーでは世界でも類まれな優れた特性をもつ日本人です。未来は歴史との対話から紡ぎだされるものだとすれば、日本の始まりである大和のころを精神的基盤として、その伝統の上に新たな創造を加えてゆくことが重要だと思います。

うるわしの桜井をつくる会では昨年来、記紀万葉プロジェクト、「大和さくら100選」や相撲神社再興、教育、環境、まちづくりなどのさまざまなプロジェクトの推進に取り組んで来ました。行政だけに頼るのではなく、公民協働してさくらいを活性化していきたいと願っています。これからの時代、傍観者ではなく一人一人が実行者になる必要があります。誰かがやってくれるという甘い考えでは結局、乗り遅れてしまいます。

勿論、一人の力では限度があります。しかし一つの灯が片隅を照らすだけであっても万人が灯を掲げれば国を照らす事にもなるでしょう。大海の水は一人の喉さえ潤すことが出来ませんが、僅か3尺の泉は万人の渴きをも癒すことが出来ます。

本年も、なんとかご一緒に泉を掘り、一灯を掲げて参りましょう。

よろしく願いいたします。

一般社団法人 うるわしの桜井をつくる会
会長 堀井 良殷



大和さくらい100選

「記紀万葉のふるさと桜井」をもっと知ってもらおうと、市民目線による桜井の取っておき100景を桜井記紀万葉プロジェクト推進協議会が公募した、市民参加による「大和さくらい100選」が選定されましたので、今回はその一部を紹介させていただきます。

「記紀万葉ゆかりの地」

●大化改新の前夜 断行を協議(談山神社 御破裂山鳴動：多武峰トウミネ)

西暦645年の5月、中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣鎌足（後の藤原鎌足公）は、多武峰に登り「大化改新」の談合を行ったことから、後にこの山を談山、談所ヶ森と呼び神社社号の起こりとなりました。藤原鎌足を祭神としています。



「ビューポイント」

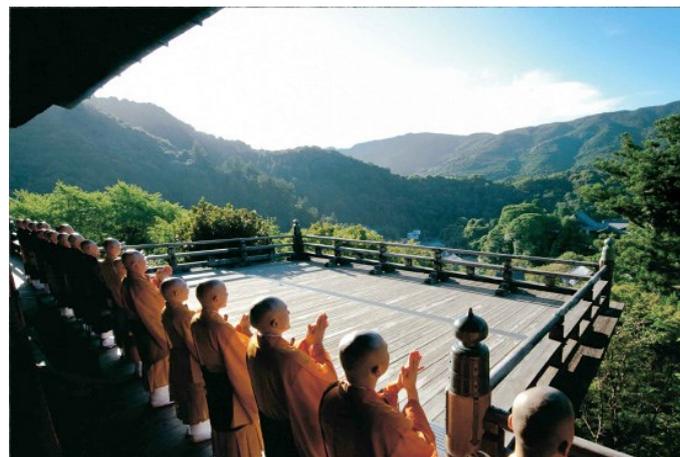
●二上山に沈む夕陽(桧原神社：三輪ミリ)
山辺の道にある檜原(ひばら)神社から西に続く檜原台地は大和国中を一望する絶好の地。春分、秋分のころ、神社の正面に見える二上山に夕日が沈む様子は、幻想的です。



「パワースポット」

●自然への崇拝 勤行(ごんぎょう)(長谷寺朝の勤行：初瀬ハセ)

本尊十一面観世音菩薩様に礼を尽くし供養する法要で、毎朝6時30分から（10月～3月は7時から）勤行が行われます。長谷寺の奥深さや精神性などを体感いただくため、誰でも自由に参拝できる、心に響く朝の勤行です。



大和さくらい100選

「パワースポット」

●木の精霊 榊(天神社・1000年以上の大榊
小夫材^ホ)

境内の西側に県下最古と云われている「ケヤキ」が植わっています。神社に伝わる古文書である、第23代顕宗天皇の顕宗紀によると、当時、榊といわれていた榊がある事が記されています。



「食・伝統・芸能・体験」

●伝統行事 魔除けの結界神事(綱かけ神事
下高家^{シタカエ})

桜井市内において、北山・鹿路・針道・小夫・高家・谷・生田などで行われる。下高家(しもたいえ)では、1月の第2日曜日に勧請綱掛け(カンジョカケ)が行われ、各地の村で行われる祭祀で春を待つ予祝行事とも、村の境を守る厄災行事ともいわれています。



「食・伝統・芸能・体験」

●伝統行事 迫力の入り舟儀式(お綱祭り 国
指定伝統行事 江包^{エツミ}・大西^{オオセ}材^{ニシ})

朝、各地区の神社から、江包は、男性の象徴を示す男綱を、大西は女綱を担ぎ出す。どちらも700^{キロ}程もある大綱で、100m程の尾綱がついている。途中慶事のあった家を祝ったり、田んぼで泥相撲を取ったりしながら綱の行列は昼前にやっと素盞鳴(すさのおう)神社までたどりつき、入舟の儀式(男綱と女綱の合体)がとりおこなわれます。





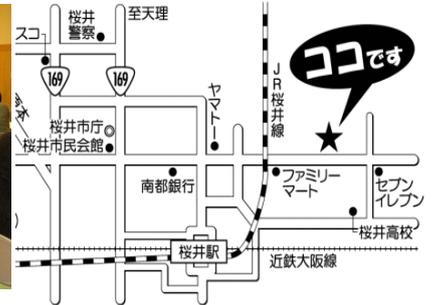
事務局だより

- 1月の常任理事会は、お休みとさせていただきます。

第3回新春交流昼食会

大好評でした交流昼食会を開催します。
会員に限らず当日だけの参加もOKですので、
知人・友人をお誘いあわせてのご参加もお待ちしています。

日時 平成26年1月25日(土) 正午より
場所 桜井市粟殿「あるぼ～」
会費 ¥3,000



お知らせ

- 図書館友の会の1月読書会は「走れメロス(太宰 治 著)です。

CDで津軽弁の「走れメロス」を聴きます。

日時 1月28日(火)午後1時30分から

場所 まほろばセンター第1研修室
友の会会員以外の参加も歓迎します。

問い合わせ先

浅川肇：090-1961-6345

- 映画「じんじん」試写会

絵本の里として知られる北海道剣淵町を舞台に人のやさしさと親子の絆を描く映画「じんじん」の特別試写会をします。

(参加費無料：申し込み不要)

日時 1月24日(金)午前10時から
午後6時30分から(2回上映)

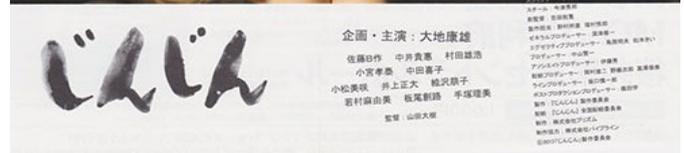
場所 桜井市立図書館第1研修室

問い合わせ先

映画「じんじん」桜井市上映を応援する会
準備会代表呼びかけ人

こども読未知(よみち) 福島 千佳

E-mail chi-mama_1215_0311@leto.eonet.ne.jp



編集後記 桜井市議会基本条例(素案)が公表されました。倫理・モラルを自ら規定することは立派なことですが、これについて若干、感じたことを述べます。なんだか選挙公約のようです。対象が選挙民だけになっているように感じます。そうではなくて、桜井市の住民はもとより、災害や家庭の事情、その他で滞留する人、観光や研究で一時的に訪れる人に対しても、高い倫理をもって接してほしい。勿論、外国籍の人にも差別なく。それから基本的人権の確保も宣言してほしい。福祉については表面的なレベルアップより、内容的・人間的に対応することによる充実をいってほしい。これからいっそう寒くなります。会員の皆さん、読者の皆さん、ご健勝を祈念しつつ、お正月をお祝い致します。(あさ)

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345